

第

IV

編

---

各調査結果からの課題の  
まとめ



## 課題のまとめ

### I 課題①：みんなで地域のつながりをつくる

#### <市民アンケート>

- ・今後、地域福祉を推進していくために「市・民間・地域住民が協力して取り組む」ことが必要と考えるとした回答が半数弱で、最も多い。
- ・〔自由記入内容より〕
  - 外に出た時はなるべく笑顔で声かけをしております。組織の中で動くのは苦手ですが個人でできる事は協力致します。
  - 「高齢者健康麻雀大会」の実施等、楽しみや生きがいをづくりを。

#### <団体アンケート・団体意見交換会>

- ・メンバーの高齢化と新メンバーの加入者がいないことが課題である。
- ・民生委員の方など、詳細な情報をお持ちではないかと思うので、協力関係ができれば、もっと活動が広がるのではないかと。
- ・団体の横のつながりが無い、他団体の活動内容が分からない。
- ・団体の情報公開と情報共有が必要なので、団体同士をつなぐシステムが欲しい。
- ・活動が分かるような団体名簿の作成
- ・他団体との交流
- ・活動資金の確保、補助金の増額
- ・事務作業の簡素化

#### <当事者ヒアリング>

- ・活動への補助金が欲しい。
- ・もらうとなると補助金の手続きが大変。
- ・「団体があるので仲間ができて楽しい」との、団体の重要性を指摘した声があった。

## II 課題②：地域の様々な分野の機関とつながり、活動する

### <市民アンケート>

・〔自由記入内容より〕

○公民の専門家が活動できる環境をつくり、市民に安心を与えることが必要だと思います。

○もし行ってお手伝いなどをしてみたいな～などという活動があれば参加したいし、協力したいですね。市も遠慮しないで市民に手助けをお願いすればいいんですよ。お金はないけど協力することは沢山あるはずですよ。

### <団体アンケート・団体意見交換会>

・福祉以外の、例えば「地域づくり協議会」、「観光協会」等と既に交流、連携・協力していると回答した団体が一定数みられる。

〔具体例〕

○市役所から人的・経済的な支援を受けている。ボランティア団体や他の地域づくり協議会とはイベントなどで連携している。

### <当事者ヒアリング>

・区長会との連携

### Ⅲ 課題③：地域交流の場をつくる

#### <市民アンケート>

- ・地域活動等の活発化のために大切と思うこととして、「困った時の助け合いの関係を深めること」「顔見知りの関係を広げること」を挙げた回答が多い。
- ・〔自由記入内容より〕
  - 老夫婦2人暮らしのため子育て世代の方との接点が少ない。子供から高齢者まで様々な世代が交流できるような取り組みはできないかと考えている。
  - 趣味の活動の場が少なく困っている。廃校の教室、体育館を市民の施設として活用させてほしい。

#### <市民意見交換会>

##### 【困りごと】

- ・近くに集まれる場所がない。
- ・近所づきあいが少ない。
- ・コミュニケーションが少ない、話し相手がいない。
- ・どんな人が住んでいるのか分からない。
- ・世代間ギャップが大きい。
- ・地域の行事が減ってきている。

##### 【自分達でできること】

- ・地域のコミュニティ施設の活用
- ・日常的、積極的な声かけ
- ・小地域での高齢者の交流の場をつくる。

##### 【行政や社協でできること】

- ・交流の場の情報提供
- ・地域住民が集う場所の提供
- ・イベント等の開催
- ・サロンに補助金

#### <団体アンケート・団体意見交換会>

- ・地域の問題点・課題として、「世代間交流が少ないこと」が最も多く挙げられている。
- ・「拠点（コミセン）も少し自由に使わせてほしい。」との回答があった。
- ・「高齢者の集いの場として活動していますが、同様の活動を行っている団体等ありましたら情報交換を行うことができれば良いと考えています。そのような機会があったらお知らせしていただきたい。」との回答があった。
- ・各地区単位での高齢者の集う場所づくり
- ・小地域での交流の場の提供(区単位での集会所の開放)

#### <当事者ヒアリング>

- ・健康相談、リハビリ、(各種)詐欺対策の講話などを、「サロン」での茶話会で行っている。

## IV 課題④：災害に備えた地域の連携体制を強化する

### <市民アンケート>

- ・「福祉のまちづくり」推進のため重要と思うことの（2位と僅差の）第3位は「災害時・緊急時の防災・安全対策の充実」となっている。
- ・〔自由記入内容より〕
  - 災害避難場所が遠方でしかも当地区は1箇所のみ放送なので細やかな配慮をしていただきたい。
  - 災害時の避難所へと連絡されても、夜とか自力では行けない。

### <市民意見交換会>

#### 【困りごと】

- ・避難場所がどこか分からない。
- ・誰が支援を必要としているか分からない。
- ・避難所に行くのが難しい(遠い、移動が困難)。
- ・情報伝達が不安。
- ・高齢者や障害者は訓練ができていない(参加できない)。
- ・備蓄品が不十分(量・内容)。

#### 【自分達でできること】

- ・避難経路の確認
- ・平常時から声かけ、見守りをする。
- ・役割分担を決めておく。
- ・各自で備蓄品を確保しておく。

#### 【行政や社協でできること】

- ・避難場所の周知
- ・情報発信、情報提供
- ・避難所の確保、整備
- ・備蓄品の保管場所の周知
- ・十分な備蓄
- ・地区ごとの支援体制づくり

### <団体アンケート・団体意見交換会>

- ・津波カプセル（「てんでんこ」）、多目的防災家具のPRで社会福祉協議会と連携している。

### <当事者ヒアリング>

- ・動くことができない人も避難訓練に参加できる環境づくり

## V 課題⑤：外出に困らない地域をつくる

### <市民アンケート>

- ・自由記入式の質問への回答（書き込み）として、非常に多くの意見、要望等が寄せられている。特に買い物、通院のための外出・移動についてなど。

[具体例]

- 返納免許、エリア限定案で維持。
- 病院の送り迎えが困っています。

### <市民意見交換会>

#### 【困りごと】

- ・買い物する店や病院等がない、少ない、遠い。
- ・公共交通機関や交通手段がない、少ない。
- ・車が運転できなくなったときに不安。

#### 【自分達でできること】

- ・隣近所や身近な人が送迎する。
- ・声をかけあって一緒に行く。
- ・スーパーやコンビニの宅配サービスを利用する。

#### 【行政や社協でできること】

- ・バスの充実(路線、便数)
- ・移動販売車の充実
- ・タクシーの運行
- ・移送ボランティアの拡充
- ・移送サービスの規制緩和

### <団体アンケート・団体意見交換会>

- ・活動や居場所のための送迎が必要
- ・移動手段の確保(市のボランティアバスの活用)
- ・買い物、病院通いへの支援
- ・通学用や施設のバスの活用(利用していない時間帯に、運転手付きで)

### <当事者ヒアリング>

- ・ボランティア輸送の拡大
- ・路線バスの充実(ノンステップバスの導入、途切れている路線をつなぐ)
- ・買い物や通院などにおける市のバスの活用
- ・バス停までの移動の問題

## VI 課題⑥：福祉活動への意識を高め、担い手を増やす

### <市民アンケート>

- ・〔自由記入内容より〕
- 高齢者の方の買い物代行などを有償でできたらいいなと思います。
- ボランティア活動をしたいが、地域でどのような活動をしているか、情報が少ない。
- 地域福祉に関心の無い方々に福祉について耳を傾けてもらえる環境づくりが必要かと思えます。

### <団体アンケート・団体意見交換会>

- ・男性が少ない。
- ・担い手、後継者、役員のなり手不足(メンバーの高齢化)
- ・一般市民に我々の存在、目的、活動などを理解してもらえるよう努力する。そして自分も一度参加してみようかな、とならないか？
- ・小中学校で、福祉教育により力を入れていただき、障害者への理解を深めてほしい。
- ・他人事として考えている。
- ・地域の活動に参加すると何かに還元できる仕組みの構築
- ・市民教育によって、市民全員に協力してもらおう。

### <当事者ヒアリング>

- ・クラブのメンバーや役員のなり手不足
- ・他地区の成功例を参考にしたい。
- ・市民の集会へ市や社協の職員が出向いて説明等をする。



## Ⅶ 課題⑦：最期まで自分らしく過ごせる地域をつくる

### <市民アンケート>

・〔自由記入内容より〕

- 国民年金だけになった時、生活していく事ができるのか。1ヶ月にかかる費用は…？
- 地区内での道路がせまく、対向車が来た場合に不安。
- 近所におじいさんが1人で暮らしていて足が悪いようですが、自転車で出かけています。いつも見かけると心配になります。近所の人と交流もなさそうな様子です。声をかけてあげられたら…と思いますが、なかなか難しいです。

### <市民意見交換会>

#### 【困りごと】

- ・一人暮らしの高齢者が多い。
- ・見守りをどこまでしていいかわからない。
- ・一人暮らしの高齢者の方が多く、見守りが十分にできない。

#### 【自分達でできること】

- ・あいさつ、声かけをする。
- ・見守り活動を行う。
- ・情報共有

#### 【行政や社協でできること】

- ・見守り研修を行う。

### <団体アンケート・団体意見交換会>

- ・子どもや独居老人の見守りを行っているが、個人情報保護法で個人情報が分からないため、パトロール活動が拡げられない。

## Ⅷ 課題⑧：心身の健康づくりに取り組み、健康寿命を伸ばす

### <市民アンケート>

・〔自由記入内容より〕

- 各部落の公民館など（お年寄りが歩いて行ける場所）で介護予防体操。
- 在宅介護をする側の心と体のケアをしていただきたい。

### <団体アンケート・団体意見交換会>

- ・15団体が、「保健・医療・健康づくり」を主な活動部門としている旨回答している。
- ・「高齢化社会に向けて、いつまでも元気な身体を保っていけるように体力面の強化を行っていく。」との回答があった。

### <当事者ヒアリング>

- ・介護予防の他自治体の事例を取り入れる。
- ・小学校の跡地を“救急医療の拠点”にしてほしい。

## Ⅸ 課題⑨：子育てしやすい地域をつくる

### <市民アンケート>

・〔自由記入内容より〕

- 子どもたちが気軽に皆で集まれる公園（遊具の充実した）がまったくないので、大変困っています。
- 近所に子どもの遊び場がないので、1つや2つでもいいので固定遊具があるといい（旧岩井小辺りで）。

### <市民意見交換会>

#### 【困りごと】

- ・子どもの遊べる公園が少ない。
- ・子どもが少なく、遊ぶのが難しい。
- ・近所でなかなか会って話す機会がない。
- ・子育て世代の働く場所がない。
- ・保育園に預けられない。

#### 【自分達でできること】

- ・地区団体(子供会)活動の活発化
- ・「子ども食堂」の開催

#### 【行政や社協でできること】

- ・経済面での支援(医療費や学費の補助)
- ・保育サービスや学童クラブの充実
- ・子どもが安心して遊べる場の設置
- ・若い人の就労の場を増やす。

### <団体アンケート・団体意見交換会>

- ・新しく丸山地区で子ども達の見守りのボランティアを募集しなければいけない。

## X 課題⑩：一人ひとりに寄り添う相談体制をつくる

<p>&lt;市民アンケート&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・「福祉のまちづくり」推進のため重要と思うことの第1、2位が「わかりやすい福祉情報の提供」「相談支援体制の整備」となっている。</li><li>・〔自由記入内容より〕<ul style="list-style-type: none"><li>○相談受付窓口の一本化を。</li><li>○問34で社会福祉協議会の活動を初めて知ることがありました。もう少し広く知らせたいです。</li></ul></li></ul>
<p>&lt;市民意見交換会&gt;</p> <p>【行政や社協でできること】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者サービスの情報提供</li></ul>
<p>&lt;団体アンケート・団体意見交換会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・私達の行っている活動について、全く知らない方が大部分であり、ボランティアまつり等でパネル展示をしても、それを見に来る方が限られた方々なので、もっと一般の方に広く発信したい。</li><li>・困ったときの相談場所を市民に分かりやすくする。</li><li>・市からの情報提供(スマートフォンへ)</li></ul>
<p>&lt;当事者ヒアリング&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・生協のサービスはパンフレット類が多く、選びにくい。</li><li>・健康相談、リハビリ、(各種)詐欺対策の講話などを、「サロン」での茶話会で行っている。</li><li>・移送サービスの充実を望む声が出されている。</li></ul>

## XI 課題⑪：困り事を抱える人をみんなで支える

<p>&lt;市民アンケート&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・地域の出来事として「高齢者への虐待」等を聞いたことがあるという回答が1割近くみられる。</li><li>・日常生活での困りごと、悩みとして最も多かった回答は「将来の生活に関すること」である。</li></ul> <p>〔自由記入内容より〕</p> <p>○最近よく都会では「子ども食堂」をやっているという話をききます。南房総市ではそのような対象になる子はいないのかな、と思いました。</p>
<p>&lt;市民意見交換会&gt;</p> <p>【困りごと】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・困っているとわかっていても介入しにくい。</li></ul>
<p>&lt;団体アンケート・団体意見交換会&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・私ももうすぐ66歳、学校、地域の見守りをやって20年。子ども達と仲良く接していますが地域の人は不審者に思われるのを恐れ、登下校中の児童に気軽に声をかけられない世の中です。残念な思いです。</li><li>・若くても支援が必要な人に対する、多機関の連携による支援</li></ul>
<p>&lt;当事者ヒアリング&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・成年後見制度の活用</li></ul>

## XII 課題⑫：地域で生活するための環境を整える

### <市民アンケート>

・〔自由記入内容より〕

- 企業誘致し働き口の確保を行政主体で行ってほしい。
- Uターンで南房総市に帰ってきて7年。子どもも夫もない独身者です。帰ってきて困ったのは仕事が無い事。
- 住宅の老朽化や日常生活排水の不備で困っている。

### <市民意見交換会>

#### 【困りごと】

- ・働く場所が少ない。

#### 【自分達でできること】

- ・観光スポットをつくる。

#### 【行政や社協でできること】

- ・企業の誘致
- ・空き家の有効活用

### <当事者ヒアリング>

- ・若い人が少ないという課題があるが、それは仕事が少ないことと直結しているため、「働く場所の確保」を求める意見があった。